



高知県立大学「県民大学」学生プロジェクト

立志社中

地域貢献を目的として活動する

本学学生グループの取り組みを応援します！

(助成金最大30万円)

平成27年度プロジェクト 募集

■募集期間

平成27年4月20日(月)～5月13日(水)

■審査会（公開プレゼンテーション）

平成27年5月24日（日）9:30～（予定）

永国寺キャンパス教育研究棟1階 A101教室

※応募状況により、開始時刻が変更となります。

■問い合わせ

高知県立大学地域教育研究センター「立志社中」事務局

〒780-8515

高知市永国寺町2番22号永国寺キャンパス地域連携棟3階（旧南舎）

TEL：088-821-7125 FAX：088-821-7126

MAIL：aeru@cc.u-kochi.ac.jp



募集説明会を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

平成27年4月25日(土) 10:00～永国寺キャンパス教育研究棟1階A109教室

平成27年度高知県立大学「県民大学」学生プロジェクト 「立志社中」プロジェクトを募集します！

▽募集するプロジェクト

本学学生のグループが、主体的に企画・実施する以下に掲げる取組みであって、かつ、成果が見込まれるプロジェクト

- ①学部学科を超えた横断的な取組
 - ②行政・企業・県民のネットワークづくり
 - ③中山間地域をはじめ地域活性化のための活動拠点づくり
 - ④まちづくりや地域おこしなど地域経済の活性化につながる取組
 - ⑤その他、地域と連携した活性化への取組
- ※ただし、政治、宗教、営利を目的とした活動は除外します。

▽応募資格

地域貢献を目的とした活動に対して意欲ある本学の学生グループ

※ただし、各グループには1名以上の担当教員を含むもの

▽支援内容

- ・1プロジェクト 30万円を限度とする活動資金の助成
※ただし、使用できる経費は特定しています。
- ・活動の相談、指導・助言、広報などの活動支援

▽採択件数 10 件程度

▽採択までの流れ

- ①審査会
公開プレゼンテーションによるプロジェクトの審査を行います。
平成27年5月24日(日) 午前中(応募数により変更)
永国寺キャンパス教育研究棟1階 A101教室
- ②審査結果(採択プロジェクト)の公表
上記審査会終了後に学内掲示、および、
地域教育研究センターホームページで公表します。

※応募にあたっては、平成27年4月25日(土)10時からの募集説明会に参加、および、平成27年度高知県立大学「県民大学」学生プロジェクト「立志社中」募集要領をご確認ください。なお、募集説明会に参加しない場合でも応募は可能です。募集要領や申請書は、地域教育研究センターのHPよりダウンロードできます。

平成26年度採択プロジェクト

プロジェクト紹介

① 4もん(訪問)で活性化! Pシスターズ



構成:社会福祉学部(6名)
主な活動地域:安芸市、土佐清水市、土佐町、津野町

地域住民の抱えている生活ニーズを地域で共有し、団結して解決することを目指し、地域住民との関係づくりの中から、地域課題解決に向けて住民と共に協議・実施し、評価を行う

② 福島に活力あたえ隊 県立大おもてなし課



構成:看護学部(27名)
主な活動地域:南国市、香美市、四万十町

被災地の親子の心身のリフレッシュを目的として、高知県の自然の中で過ごすことにより、親子が癒しを体験することができるとともに、高知県の魅力を発信する

③ 地域共生プロジェクト かんきもん



構成:社会福祉学部(66名)
主な活動地域:四万十市、北川村

「高齢者も子どもも障がいのある人も、みんなで寄り添い、守り、支え合う共生の関係づくり」のコンセプトのもと、さまざまな世代との交流を通じて、安心して暮らせる地域づくりに貢献する活動を行う

④ 健援隊プロジェクト 健援隊



構成:看護学部(40名)
主な活動地域:高知市

県民の健康文化を育み、命を守るために、熱中症予防、AEDの使用法、心肺蘇生法、止血法などの応急手当の啓発活動を行うことで、応急手当のさらなる普及を促進する為の活動を行う

⑤ それいけ! 大野見エコ米 ~ No Rice, No Life ~ COME☆RISH



構成:健康栄養学部(18名)
主な活動地域:中土佐町

大野見エコ米をツールとした、米作りやレシピの開発を通じて、中土佐町の活性化に貢献するとともに、地域との交流により世代や立場を超えて、お互いに学びの場とする域学共生を目指す

⑥ リ・デザイン高知! 活輝創生実行委員会



構成:文化学部、社会福祉学部(31名)
主な活動地域:香美市、佐川町

全国に先駆けて少子高齢化、過疎化が進行する高知県の中山間地域において、地域の「つながり」が失われつつある現状に、生き生きと輝く活気を取り戻すことを目的として活動を行う

⑦ 三原村民俗・言語調査プロジェクト from ZERO



構成:文化学部(10名)
主な活動地域:三原村

三原村で使用される民具等の方言呼称がどこから伝わって定着したかについて確認し、「モウ・コヒ」の移動を明らかにするとともに、これらの活動を通じて、次世代への継承を目指す

⑧ ボランティア社中 イケあい地域災害学生ボランティアセンター



構成:文化学部、看護学部、社会福祉学部、健康栄養学部(68名)
主な活動地域:高知市、須崎市、黒潮町

学内外での防災啓発、地域との信頼関係の構築、他大学との連携等の活動を通じて、災害時にボランティアのコーディネートを行うボランティアセンターを立ち上げるための基盤を作る

立志社中は…

- ◇地域の課題に高い関心を持った学生が、地域の方々と協働して取り組む
- ◇学生が地域の方々と一緒に活動することを通じて、学内だけでは学べないことを学ぶ
- ◇大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながる仕組みをつくる
- ◇3つの目標を掲げ、地域と関わる演習、フィールドワーク、研究室活動、学生活動等の実績を土台にしながら、地域活性化に貢献する学生主体のプロジェクトを公募、審査し、支援するものです。